

city&life

都市のしくみと暮らし

no.103
spring
2012



特集 時間に暮らす



表紙・裏表紙 — 「東北」 photo:坂本政十賜

特集

時 間 に 暮 ら す

contents

対談	日本人と住まい 鈴木博之 × 隈 研吾	2
ルポ	「ストック住宅」の可能性 尾道空き家再生プロジェクト+ブルースタジオ+優良ストック住宅推進協議会	9
連続インタビュー	つづく家づくり① 総有論の射程、つづく家づくりの唯一の解決策 五十嵐敬喜	16
ルポ	「営み」としての住まい 京町家、大阪長屋から「暮らし」の継承を考える	20
連続インタビュー	つづく家づくり② 都市のなかの「時」と「間」、時間に暮らす知恵 後藤春彦	26
連載	震災Report① 被災者と支援者をつなぐ、オープンな プラットフォームをめざす きたかみ震災復興ステーション	30
連載	都市を拓いた人々④ 小樽 広井 勇 日本の港湾土木の父	34
連載	relay essay 私の好きなまち・暮らし② 村上 新潟県 林 泰義	39
	back number・information	40



時間に暮らす

特集

建築物の長寿化へのニーズが高まっている。住宅においても、200年住宅が提唱され、2009年には、「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が施行された。建築物の長寿化が進められる背景には、地球環境問題への対応や建築をパブリックな社会ストックとして捉えようとする認識の変化がある。住宅に限ってみれば、新築需要は減退傾向にあり、一方で、増え続ける中古住宅の有効活用が期待されている。また、中古住宅の改修、集合住宅の再生、空き家バンクなども、長く大切に使うという意味で、建築物の長寿化と軌を一にするものだろう。建築物の長寿化について、ストック、再生、改修、空き家活用といった動向も視野に入れながら、「時間」をキーワードにその意義、課題を探る。

photo:坂本政十「東北」